

平成30年度新規研究課題

課題番号 (6)

課題名：根こぶ病抵抗性品種「CR¹ はなっこりー」の育成

研究期間：平成30～34年度

研究担当：農業技術部 園芸作物研究室

1 研究の背景

アブラナ科作物に発生する根こぶ病は、全国的に重要病害となっており、近年「はなっこりー」においても大きな問題となっている。根こぶ病が発生すると大きく減収し、ひどい時は全減となるケースもある。そのため、「はなっこりー」では抵抗性品種の開発が急務となっている。

2 目的

根こぶ病に抵抗性のある「はなっこりー」品種を育成する。

3 研究内容

- (1) 早生品種「はなっこりーE2」に根こぶ病抵抗性遺伝子を交配によって導入する。
- (2) 根こぶ病抵抗性遺伝子を導入した「はなっこりー」の抵抗性の強弱（根こぶ病による大きな減収を招かないこと）を確認する。
- (3) 根こぶ病抵抗性「はなっこりー」の特性が栽培・生産上問題ない（収量性、労働生産性、食味等が従来品種に比べて劣らない）ことを確認する。

4 研究のポイント

- (1) 「はなっこりー」に初めての根こぶ病抵抗性品種ができる。
- (2) 薬剤だけに頼らない、安心・安全な総合的防除体系の構築²⁾が可能となる。
- (3) 根こぶ病発生地域でも「はなっこりー」を栽培できるほ場が復活し、根こぶ病による減収が大幅に改善できる。

脚注 1) Clubroot (根こぶ病) Resistance (抵抗性) の略、根こぶ病抵抗性を意味する

2) 様々な防除手段（土壌pH矯正、おとり作物、薬剤、抵抗性品種等）を組み合わせ、病気等による被害をある経済水準以下に維持する体系

根こぶ病抵抗性品種「CRはなっこりー」の育成(H30～34)

農業技術部 園芸作物研究室

研究の背景

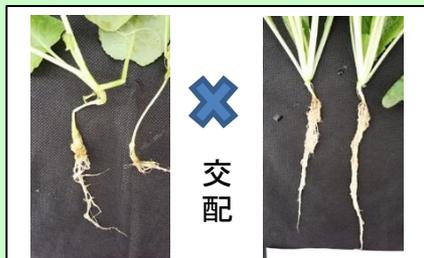
- ・アブラナ科作物に発生する根こぶ病は、全国的な重要病害であり、「はなっこりー」においても大きな問題となっている。
- ・「はなっこりー」において抵抗性品種の開発が急務となっている。

研究の目的

根こぶ病に抵抗性のある「はなっこりー」品種を育成する。

研究内容

「交配」:
はなっこりー × 抵抗性品種



- ・左: はなっこりー、根こぶ病抵抗性がないため、根がこぶ化することにより、生産が阻害される。
- ・右: 抵抗性品種、こぶ化しない。

●両者の交配により、抵抗性品種の抵抗性遺伝子をはなっこりーへ導入

「抵抗性遺伝子を導入したはなっこりーの育成」



- 根こぶ病抵抗性の発現
- ・根こぶ病菌の存在下でも根がこぶ化しないもしくは軽微であることを確認する。

「根こぶ病抵抗性はなっこりーの栽培特性の確認」



- 生産上の特性発現
- ・収量性、労働生産性、食味等といった主要な特性が一定以上であることを確認する

期待される成果

「はなっこりー」に初めての根こぶ病抵抗性品種が誕生

- ・安心・安全な総合防除体系を構築することが可能となる
- ・根こぶ病による減収を回避することが可能となる